

会話映像コーパスデータを利用した コミュニケーションの分析

牧野遼作¹, 坊農真弓^{1,2}

¹NII, ²総合研究大学院大学

研究概要

- ・人々の会話場面をビデオに収録し，繰り返し観察・分析することで，コミュニケーションの構造を明らかにする。
- ・会話映像をコーパス化し，共通の形式でデータの集約，会話データを多くの研究者に公開
- ・多くの研究者によって，会話データを多角的に検討する。

未来館SC会話コーパス

日本科学未来館5階 「巨大望遠鏡で宇宙の謎に挑む」 展示フロアにてデータ収録 (2014年2月-3月)

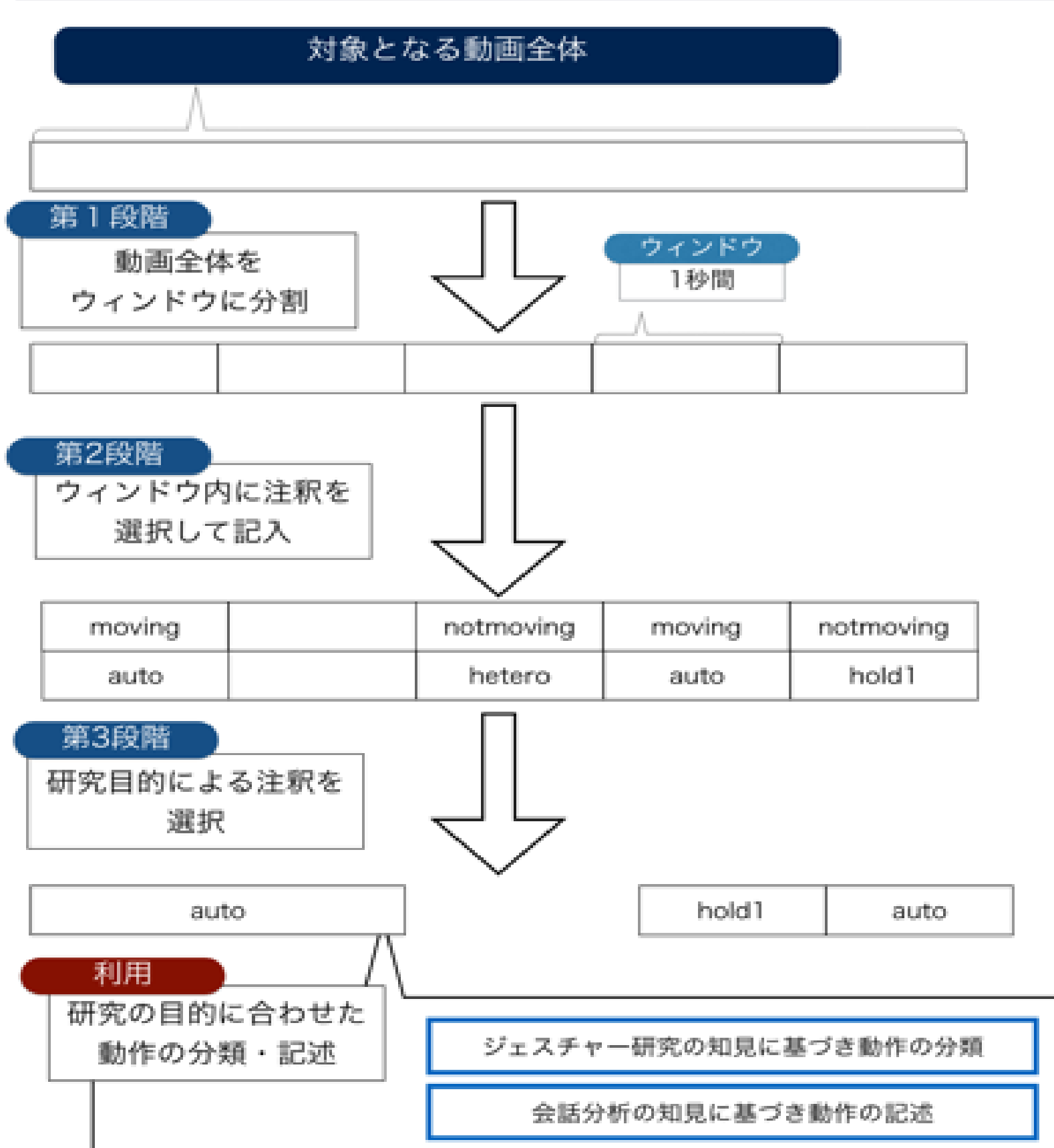
対話数：35
総対話時間：8時間17分22秒
平均対話時間：14分30秒
総SC数：14人
総対話者（来館者）数：70人



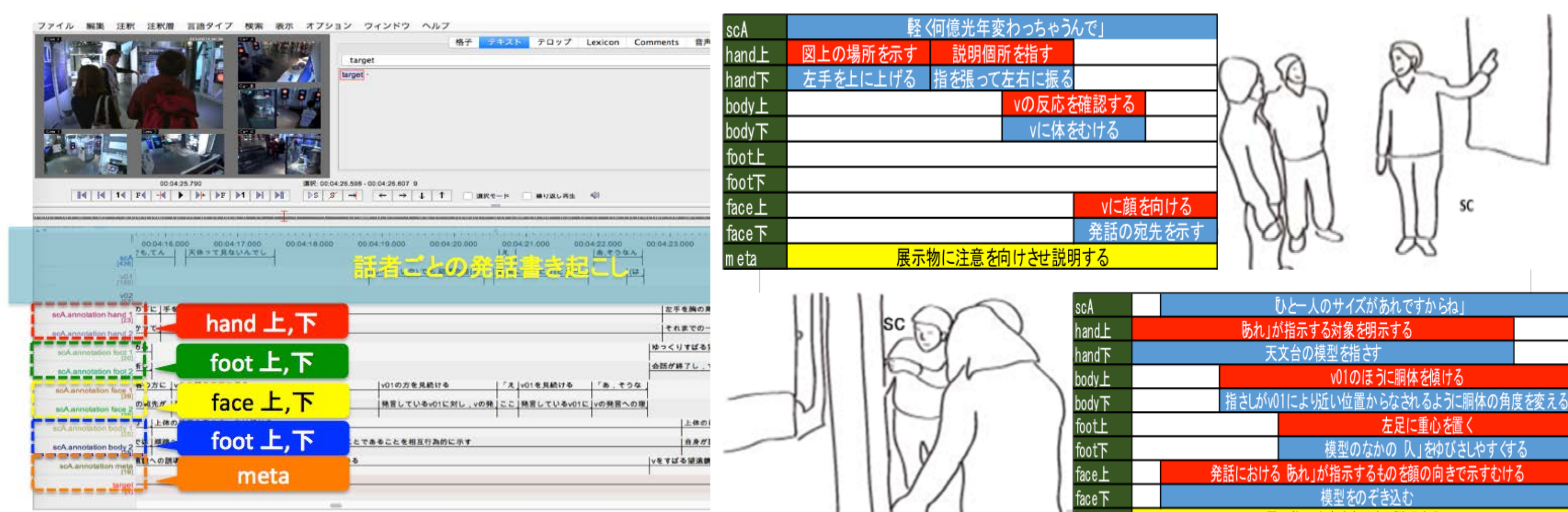
データ・収録場面概要・コーパス作成マニュアルについて
NII情報学研究データリポジトリより順次
公開予定
(<http://www.nii.ac.jp/cscenter/idr/>)

身体動作のコーディング・アノテーション手法の開発

身体動作のコーディング手法



身体動作のアノテーション手法

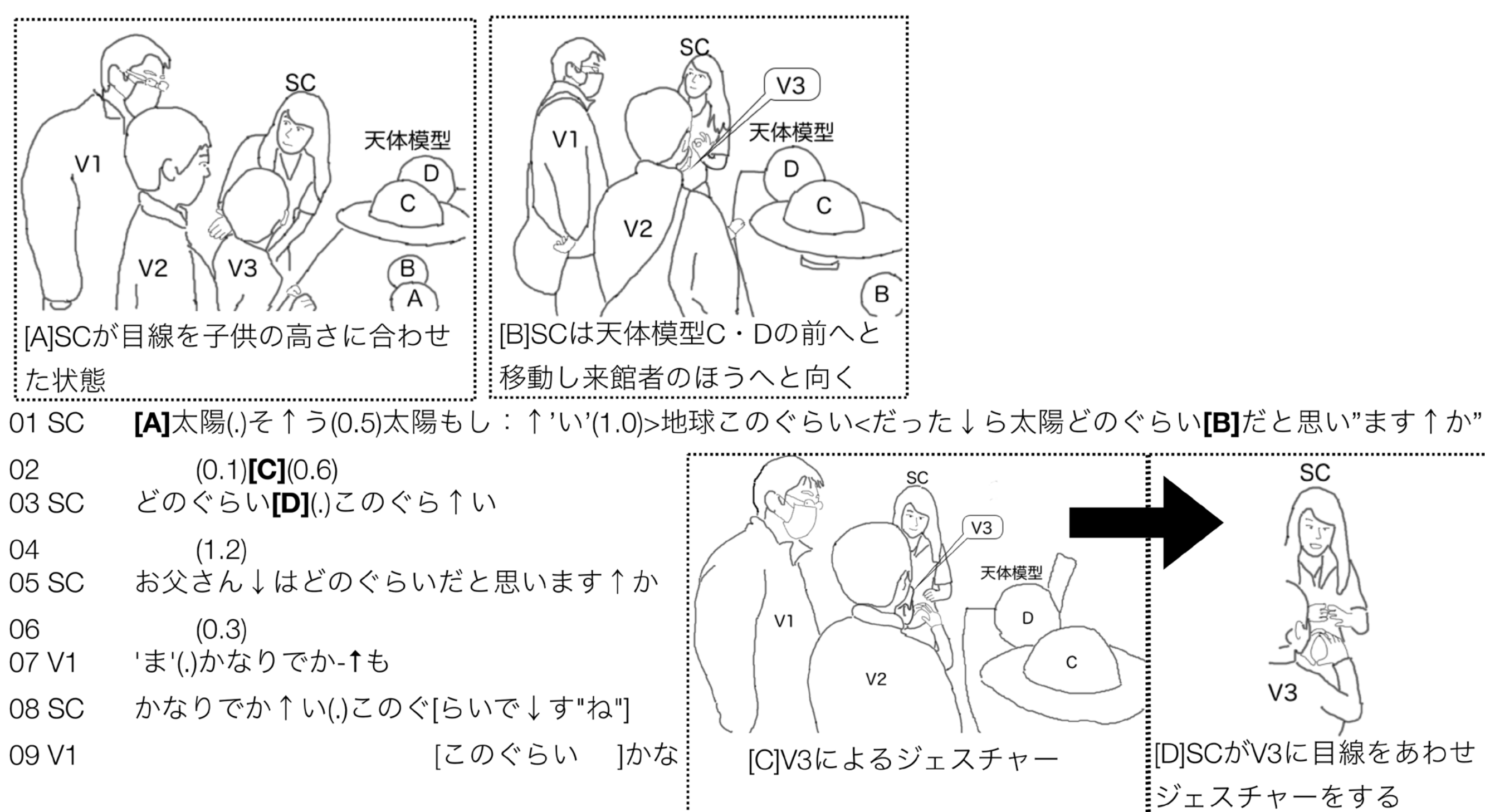


手法を利用した分析

牧野遼作, 城綾実, 坊農真弓, 高梨克也, 佐藤真一, 宮尾 祐介(2015) 実世界における身体動作のコーディング・セグメンテーション手法の提案-日本科学未来館における科学コミュニケーターと来館者間の対話を対象に-, 人工知能学会第29回全国大会.

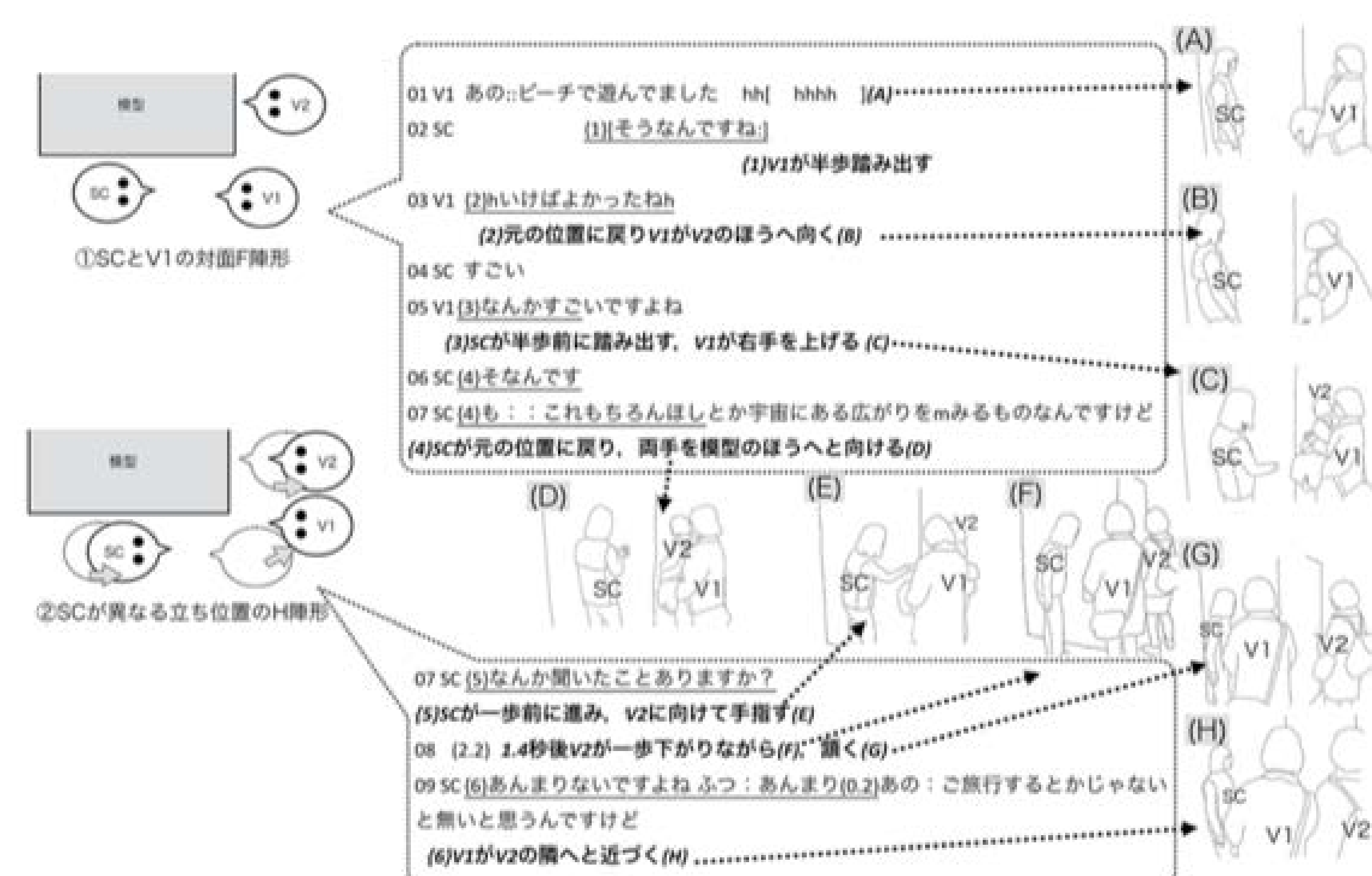
坊農真弓, 須永将史 (2016) 参加者の理解に基づく身体動作のアノテーション手法の提案, 第76回 人工知能学会 言語・音声理解と対話処理研究会, SIG-SLUD-B503, pp.7-12

敬体・常体を使い分けた親／子への問いかけのやり方



牧野遼作, 坊農真弓 (2016) 子供のいる多人数会話で互いの存在を利用すること～科学コミュニケーターの常体／敬体の使い分けに着目して～, 信学技法(思考と言語研究会), 116(242), pp.7-12.

SCと来館者が立ち位置を調整し展示物の解説を行う



牧野遼作, 古山宣洋, 坊農真弓 (2015) 「フィールドにおける語り分析のための身体の空間陣形: 科学コミュニケーターの展示物解説行動における立ち位置の分析」『認知科学』Vol.22, No.1, pp.53-68.(特集: フィールドに出た認知科学)